

福島産米は、全量全袋検査（玄米）を実施し安全性の確保に取り組んでいます。



エフコープ生協の店舗での販促キャンペーンは2年越しの実現だった。生産部会では、「子供たち

名。

から会津産こがねもちを持参し、もちつきを企画したところ多くの

人で賑わいとても好評だった（も

ちつきは新宮店舗のみ実施）。

販促キャンペーンでは試食を勧めながら生協組合員と交流を深めた。『会津産コシヒカリは甘みが

あり、粘りもちょうど良い』『今

までも食べています。とても美味

しい』との評価が多かった。奈良

橋部会長は、「訪問し交流するこ

とで私たちの安全・安心対策への

取り組みを理解して頂いたと思

う。今後も継続して開催して欲し

いとこの言葉も頂いた。これからも

会津から美味しいコシヒカリをお

届けたい」と語り販促の手応え

を感じていた。

同生産部会の中で64名の生産

者が216畝の栽培面積で、特

別栽培米コシヒカリに取り組

む。平成28年産の集荷数量は、約

1万5800俵弱。

1等米比率99・5%

と高品質に仕上が

った。登熟良好で

玄米の粒張りも良

く、食味分析では

「玄米タンパク値は

6・3%」になり食

味面でも昨年産を

上回った。

ただ収量につい

ては、『会津地方の

作況指数102』

の実感はなくった

ようだ。全般に天

候に恵まれたため、

登熟と玄米肥大は

良好だったものの7月以降の茎数

不足から穂数が少なかったことが

収量に影響を及ぼしたと見られる。

同生産部会は昨年3月、集落等

の村づくり・農業再生活動の実践

で優れた団体を讃える「2015

豊かなむらづくり顕彰」（福島県

と福島民友新聞社が主催）の農業

生産部門で先駆的な取り組みが認

められ、晴れの優秀団体表彰を受

けた。



初めての「もちつき」体験は子供たちに好評だった。エフコープ生協組合員と交流を深めることで生産部会では、会津産コシヒカリの知名度もアッ

福島米

極上の会津米



JA会津よつば・北会津銘柄米生産部会  
好評！エフコープ生協店舗での販促  
“安全・安心・美味しさ”の会津コシヒカリ



イメージキャラクター  
コメナルド画伯

新米の会津産コシヒカリ5kg袋を揃えた



販促を行ったエフコープ生協新宮店

会津産コシヒカリ特別栽培米の販促活動は、福岡県のエフコープ生協折尾店（北九州市八幡西区千代ヶ崎）と新宮店（福岡市東区和白東）の2店舗で行った。参加者は奈良橋部会長を先頭に部会員の佐々木俊法さん、あいつ西部稲作生産部会長の石原静雄さん、JA会津よつば（庄條清之あいつ西部営農経済センター長、事務局の長谷川新哉氏）とJA全農福島（消費地販売部の三瓶陽太氏）、それに会津若松市から農政課農業担い手グループ主幹の生江隆氏の計7

極上の会津産コシヒカリ「ホタルの舞う里」（特別栽培米）栽培に取り組みJA会津よつば・北会津銘柄米生産部会（奈良橋部会長）。全量全袋検査による安全・安心の担保に加え、美味しさ追求の米づくりを目指すほか、JA全農福島・JA会津よつば等と連携して顔の見える売り込み販売促進にも力を入れる。昨年12月上旬、さつそく九州へ販売促進活動に出向き、福岡県内を事業エリアとするエフコープ生協と交流を深めてきた。

取材協力・写真提供／JA会津よつば・北会津銘柄米生産協会